

【学会発表】

山田晃司, 橋本竜作, 幅寺慎也: 皮質下性失語例の自発話における構音改善にむけた実践報告. 第 14 回北海道言語聴覚士会学術集会, 2019.10

山田晃司, 橋本竜作, 八島夕華子, 幅寺慎也: 皮質下性失語に伴う構音の障害に関する検討-メモを使うことで構音が明瞭化した 1 例. 第 20 回日本言語聴覚学会, 2019.6

山田晃司, 橋本竜作, 幅寺慎也: アナルトリー一例における同音異義語の音読に関する検討. 第 42 回日本神経心理学会, 2018. 9.

中井優希, 山田晃司, 幅寺慎也: 目標語と異なる対象を呼称する反応がみられた失語症の 1 例. 第 13 回北海道言語聴覚士会学術集会, 2018, 10

山田晃司, 橋本竜作, 立岡愛弓, 幅寺慎也: 左前頭葉損傷例における仮名書字とタイピングに関する検討. 第 19 回日本言語聴覚学会, 2018. 6.

中井優希, 幅寺慎也, 山田晃司, 関根夕華子, 松井里麻: 声域への意識が有響成分を得る契機となった発声失行の一例. 北海道言語聴覚士会学術集会, 2017, 7

川村有梨江, 山田晃司, 立岡愛弓, 幅寺慎也: 純粹語唾と考えられた 1 症例の発話分析. 北海道言語聴覚士学術大会, 2017.7.

山田晃司, 橋本竜作, 齋藤久泰, 難波志奈, 幅寺慎也: FAS 症例における同音異義語の音読に関する検討～単語音読時の“ピッチ情報の付加”に着目して～. 第 40 回日本高次脳機能障害学会, 2016. 11.

関根夕華子, 幅寺慎也, 佐々木絵梨: 小脳出血 AVM 摘出術後に重度嚥下障害を呈した一例. 平成 27 年度北海道言語聴覚士会総会学術集会, 2015. 5.

山田晃司, 幅寺慎也: 前脳基底部健忘を呈した 2 症例～対連合学習を用いた介入～. 第 38 回日本高次脳機能障害学会, 2014. 11.

幅寺慎也, 林圭輔, 石合純夫: 左大脳半球損傷により Posterior AHS を呈した 1 例. 第 34 回日本高次脳機能障害学会, 2010.11

幅寺慎也, 林圭輔: 非失語レベルへ改善した混合型出血の 1 例－血腫の吸収による失語症上

の改善経過. 第 10 回日本言語聴覚学会, 2009.6

幅寺慎也, 中島恵子, 林圭輔: クモ膜下出血を発症し, 術後全生活史健忘を呈した 1 症例.
第 31 回日本高次脳機能障害学会, 2007.11

幅寺慎也, 大澤庸子, 林圭輔, 進藤順哉, 小山聡: 抗精神病薬の副作用により出現した構音
障害の改善経過—下顎固定が発話の努力性軽減に有効であった 1 症例—. 第 7 回日本言語
聴覚学会, 2006.7

幅寺慎也, 林圭輔, 進藤順哉: 重度嚥下障害を伴う Wallenberg 症候群の訓練経過について
—経口摂取が可能となった 2 症例—. 第 9 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 2003.9

【論文】

林圭輔, 小嶋知幸, 幅寺慎也, 中川絵梨, 山田恵理: 音韻性失読の 1 例—単語の音読および復
唱における障害メカニズムの検討. 言語聴覚研究, 2010,(7),163-173

山田晃司, 橋本竜作, 立岡愛弓, 幅寺慎也. : ローマ字書字とタイピングに乖離を示した左前
頭葉損傷の 1 例. 高次脳機能研究, 2019, 39 (1) , 43-51.

山田晃司, 橋本竜作, 幅寺慎也. 音読課題において異なる誤反応パターンを示した純粹発語
失行例の検討. BRAIN and NERVE 72(6) , 643-651, 2020.6.